

効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名			担当室
令和元年度	市単	出産・子育て・教育 地域まるごと応援推進プロジェクト			健康・子育て支援室 ／学校教育室
事業実績額(円)		4,006,099			
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	若者定住促進プロジェクト			
	基本的な方向	育ちと学び、人と人をつなげる小中一貫教育の推進/子育てしやすい労働環境整備/安心・安全な子育て環境づくり			
	具体的な施策	産み育てるにやさしいまち「なばり」の実現/「なばりブランド」としての「ひと」づくり～魅力ある教育の推進～			
事業期間		平成30年度～令和2年度			
事業の目的		<p>(1)妊産婦応援事業 妊産婦応援都市宣言の推進のための周知・啓発をはじめ、新たな取組として「こそだてサポーター養成講座」を開催します。子育て教室、おっぱいケア事業、市内16の地域の子育て広場、小中学生に向けた命の教育、子育て支援員研修の受講の動機づけなど、充実した支援ができる体制を整えます。</p> <p>(2)ばりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト 幼児期から小学校への就学をスムーズに向うことができるようコーディネート役として地域の人材が市内すべての幼稚園等の現場に入り出前授業を実施し、小学校への期待感を持てるように取り組みます。</p>			
全事業期間における本年の位置づけ		前年度の事業実績や状況の見直しを行い、より効果的な事業実施に取り組むとともに、さらに多くの市民の参画や、それぞれの地域づくり組織が妊産婦・子育て世代を応援する機運を高めます。また、子ども達、地域、学校がより連携を深め、子育て環境の充実となる、幼・保・小学校・中学校を通じた地域連携・共同による教育を推進し、若い世代の定着や出生率の向上、子育て世代の転入促進を図ります。			
重要業績評価指標(KPI)	指標	基準値(H30.3)	R元年度目標値	R元年度実績値	
	市外への転出超過の抑制数	101人	前年比 15人抑制 (転出超過数119人)	前年比 31人増 (転出超過数150人)	
	出産・子育て・教育 地域まるごと応援事業による事業数	15事業	2事業増	増加なし	
	子育てサポーターの数	0回	150回増	△17回 (10回実施 740人)	
令和元年度の取組概要		<p><妊産婦応援事業> 「こそだてサポーター養成講座」の実施、妊産婦応援都市宣言推進の周知・啓発</p> <p><地域の宝「ばりっ子」応援プロジェクト> (1)ばりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト 幼児期から小学校への就学をスムーズに移行できるよう、地域の人材が幼稚園などで「言葉あそび」「数あそび」「ものづくり」の出前授業を実施 (2)ふるさとなばり推進プロジェクト ふるさと学習なばり学を活用し、地域人材「ふるさと先生」による授業の実施 (3)未来へつなぐ学びのCSプロジェクト 生涯学習の拠点として、学校図書館に管理者を置き、地域住民に開放し補充学習の支援や子どもの居場所づくりを実施</p>			
外部有識者による効果検証	検証の時期	令和2年7月			
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による			
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 「ばりっ子すくすく募金」は使い道がわかりやすい。目に見える形の活動が市民にも伝わると思う。 待機児童はゼロに近い状況となっており、0～2歳児が一番待機児童が多いところであるが小規模園の増などで解消されている印象。その反面、保育士が不足している状況がある。また、こうした施設が増えた状況で、次の段階の課題もでてきており、子供の人数に対して保育士を置く人数が決まられており、0歳児は4月スタート時点から揃っているわけではないが、4月の時点で保育士を確保しておく必要がある。そうすると、子どもがまだ居ないので運営費が回らない状況となっており、こういったところにも市の支援があればと思う。 晴れた日は公園がいっぱい、雨の日は遊ぶ場所がないなど、子どもの遊び場が少ないといった声を聞く。 若者に名張を選んでもらえるよう、PRが必要。例えば、就職説明会などの機会に「若者定住プロジェクト」における各種取組を見やすいパネルにして、説明してはどうか。 同じ教育でも、都市部と地方では通信環境などの違いによってタブレット整備の進捗状況などで差が出ていると思う。そういう所で平準化されて、生活の質が保てないと、都市部と同じ土俵には立てないのではないか。 			
	結果の公表	令和2年9月以降 ホームページで公表予定			
市議会による効果検証の有無		有 ・ 無 (時期 : 令和2年8月)			
総合評価		一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる			
今後の方針	方針	事業の継続			
	理由	計画どおり事業を継続する			